

しがけんしょうがいしゃぶんかげいじゅつかつどうすいしんけいかく
滋賀県障害者文化芸術活動推進計画

だい じ そあん
(第2次) 素案

ばん
～わかりやすい版～

れいわ がつ
令和5年11月

し が けん
滋賀県

もくじ 目次

だい しょう 第1章

しがけんしょうがいしゃぶんかげいじゅつかつどうすいしんけいかく きほんてき かんが かた 滋賀県障害者文化芸術活動推進計画の基本的な考え方

けいかく もくてき きかん せつめい
計画の目的や期間などについて、説明します。

だい しょう 第2章

しがけん しょうがいしゃぶんかげいじゅつかつどう かん げんじょう かだい 滋賀県の障害者文化芸術活動に関する現状および課題

しがけん とく とく せつめい
滋賀県がこれまでに取り組んできたこと、これから取り組まなければいけないことを説明します。

だい しょう 第3章

きほんもくひょう せさく ほうこうせい 基本目標と施策の方向性

けいかく だい じ きほんてき もくひょう とりくみ かんが かた せつめい
計画（第2次）の基本的な目標や取組の考え方について、説明します。

だい しょう 第4章

せさく てんかい 施策の展開

けいかく だい じ もくひょう すうじ おも とりくみ せつめい
計画（第2次）の目標の数字と主な取組について、説明します。

だい しょう 第5章

けいかく すいしん 計画の推進

もくひょう む とく たいせい せつめい
目標に向けて取り組むための体制などについて、説明します。

けいかく つく もくてき
計画を作る目的

しがけん けんみん だれ ぶんかげいじゅつ たの ばしょ つく ぶんかげいじゅつ しんこう と く
滋賀県では、県民の誰もが文化芸術に楽しめる場所を作るなど、文化芸術の振興などに取り組んでいます。

しょうがい ひと ぶんかげいじゅつかつどう すいしん しょうがい ひと じこじげん しゃかいさんか そくしん と く
また、障害のある人の文化芸術活動を推進し、障害のある人の自己実現と社会参加の促進に取り組んでいます。

しょうがい ひと ぶんかげいじゅつかつどう おこな きょうせいしゃかい じつげん めざ けいかく つく
障害のある人が文化芸術活動を行うことによって、共生社会の実現を目指すため、計画を作ります。

きょうせいしゃかい しょうがい たが たが あ たいせつ あ いっしょ い しゃかい
※共生社会とは、障害のあるなしにかかわらず、お互いがお互いをわかり合い、大切にしながら一緒に生きていく社会のこと。

けいかく きかん
計画の期間

れいわ ねんど ねんど れいわ ねんど ねんど ねんかん けいかく
令和6年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）までの5年間の計画です。

しょうがい ひと ていぎ
障害のある人の定義

しょうがいしゃてちょう も ひと
「障害者手帳」を持っている人のことではありません。

しんたいしょうがい ひと ちてきしょうがい ひと せいしんしょうがい ひと はったつしょうがい ひと なんびょう ところ からだ
身体障害のある人、知的障害のある人、精神障害のある人、発達障害のある人、難病などにより心や体のはたらき
しょうがい ひと しょうがい しゃかい なか ぼり あ しゃかいてきしょうへき にちじょうせいかつ しゃかいせいかつ そうどう せいげん
に障害がある人で、障害および社会の中にあるバリア（社会的障壁）によって、日常生活や社会生活に相当な制限
う ひと
を受けているすべての人のこと。

ていぎ けいかく ことば いみ き
※定義とは、この計画でつかう言葉の意味を決めること。

しがけん おも とりくみ
これまでの滋賀県の主な取組

- 手話通訳や字幕の表示など、障害のある人の文化芸術の鑑賞を支援するマークを作りました。
- 障害のある人がつくった作品の展覧会（ぴかつtoアート展）を開催しました。
- 障害のある人の文化芸術活動についての相談やお知らせに関する支援を行いました。
- 市町の文化施設で、誰もが楽しめる文化芸術プログラムを開催しました。
- 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールで、バリアフリー朗読劇を開催しました。
- 滋賀県立美術館のロビーで、アール・ブリュットと信楽焼の作品や福祉施設を紹介しました。

かんしょう しえん まーく れい
【鑑賞を支援するマークの例】



うけつけ ひつだん
受付で筆談します。



じまく ひょうじ
字幕を表示します。



ひ あ り ん ぐ る ー げせき
ヒアリンググループ席
があります。



と あーとてん ようす
ぴかつtoアート展の様子



ばりあふりーろうどくげき ようす
バリアフリー朗読劇の様子
(写真：守屋友樹)



しがけんりつびじゅつかん ようす
滋賀県立美術館の様子

※バリアフリー朗読劇とは、スクリーンにセリフを表示し、点字のパンフレットを配るなど、障害のある人もない人も楽しめるように工夫した朗読劇のこと。

※アール・ブリュットとは、芸術の教育を受けていない人たちによってつくられた独自の表現の作品のこと。

しがけん と く
これから滋賀県が取り組まなければいけないこと

- しょうがい ひと たの ぶんかげいじゅつぶろぐらむ すく
・ 障害のある人が楽しめる文化芸術プログラムが少ないので、
しょうがい ひと かんしょう しえん ひつよう
障害のある人の鑑賞を支援することが必要です。
- しょうがい ひと さくひん はっぴょう ばしょ すく
・ 障害のある人が作品をつくったり、発表したりする場所が少ないので、
きかい ひつよう
その機会をつくる必要があります。

- しょうがい ひと ぶんかげいじゅつかつどう ささ ひと そだ ひつよう
・ 障害のある人の文化芸術活動を支える人を育てていく必要があります。
- しょうがい ひと いけん き ぶんかげいじゅつぶろぐらむ おこな ひつよう
・ 障害のある人の意見を聞きながら、文化芸術プログラムを行うことが
必要です。

- しょうがい ひと ぶんかげいじゅつかつどう とお しょうがい りかい ぶか ひつよう
・ 障害のある人の文化芸術活動を通して、障害への理解を深めていく
ことが必要です。
- しょうがい ひと ぶんかげいじゅつ みりよく かし つた りかい ぶか ひつよう
・ 障害のある人の文化芸術の魅力や価値を伝え、理解を深めることが
必要です。

とりくみ ほうこうせい
これからの取組の方向性

した
親しむ

いんくるーしぶ
インクルーシブな
ぶんかげいじゅつ すいしん
文化芸術の推進

つながる

ぶんかげいじゅつかつどう とお
文化芸術活動を通した
しゃかいさんか そくしん
社会参加の促進

ささ
支える

ちいき しょうがいしゃ
地域の障害者
ぶんかげいじゅつ すいしん
文化芸術の推進

たいせつ かんてん
〈大切な観点〉
子ども・子ども・子ども

きほんもくひょう
計画目標

だれ じぶん ぶんかげいじゅつ した ひと ひと しが
誰もが自分らしく文化芸術に親しみ、人と人がつながる滋賀

しょうがい ひと ひと ぶんかげいじゅつ たの かんきょう ぶんかげいじゅつかつどう ささ ひと
障害のある人もない人も、文化芸術を楽しめる環境や、文化芸術活動を支える人をつくります。

しょうがい りかい ふか ひと ひと しが めざ
また、障害の理解を深め、人と人がつながる滋賀を目指します。

とりくみ かんが かた
取組の考え方

した いんくるーし ぶんかげいじゅつ すいしん
1 親しむ（インクルーシブな文化芸術の推進）

しょうがい ひと ひと ひと ぶんかげいじゅつ たの けんり
障害のある人もない人も、すべての人に文化芸術を楽しむ権利があります。

だれ ひと じぶん ぶんかげいじゅつ たの でじたるぎじゅつ つか ごうりてきはいりよ ていきょう かんしょうさぽーと
誰もが等しく自分らしく文化芸術を楽しめるよう、デジタル技術を使いながら、合理的配慮を提供し、鑑賞サポートを
いんくるーし ぶんかげいじゅつ すいしん めざ
するなど、インクルーシブな文化芸術の推進を目指します。

ごうりてきはいりよ ていきょう れい
※合理的配慮の提供の例



だんさ とお とき すろーぷ つ
段差で通れない時に、スロープを付ける

かんしょうさぽーと れい
※鑑賞サポートの例



じまくめがね つ かんしょう
字幕メガネを付けた鑑賞

いんくるーし ぶんかげいじゅつ すいしん
※インクルーシブとは、すべてを含むという意味で、障害のある人も障害のない人もみんな一緒のこと。

でじたるぎじゅつ こんぴゅーたー じぶん が える えーあい じんこうちのう ならぬ ぎじゅつ
※デジタル技術とは、コンピューター自身が学ぶことができるAI（人工知能）などの新たな技術のこと。

ぶんかげいじゆつかつどう とお しゃかいさんか そくしん

2 つながる（文化芸術活動を通じた社会参加の促進）

しょうがい ひと ぶんかげいじゆつかつどう こせい い じしん たか まわ ひと しょうがい ひと こせい とくい きづ
障害のある人の文化芸術活動は、個性を生かし自信を高め、周りの人に障害のある人の個性や得意なことを気付かせます。

しょうがい ひと ひと たいとう ぶんかげいじゆつかつどう とお しゃかいさんか そくしん めざ
障害のある人ない人が対等につながれるよう、文化芸術活動を通じた社会参加の促進を目指します。

ささ ちいき しょうがいしゃぶんかげいじゆつ すいしん

3 支える（地域の障害者文化芸術の推進）

しょうがい ひと ぶんかげいじゆつかつどう がっこう ふくしせつ ひと かか
障害のある人の文化芸術活動は、学校や福祉施設など、たくさんの方が関わっています。

しょうがい ひと ぶんかげいじゆつかつどう ささ ちいき しょうがいしゃぶんかげいじゆつ すいしん めざ
障害のある人の文化芸術活動を支えられるよう、地域の障害者文化芸術の推進を目指します。

たいせつ かんが かた 大切な考え方

こ こ こ 子ども・子ども・子ども

ぶんかげいじゆつ にんげん にんげん い うえ たいせつ こ せいちょう みらい じゅうよう
文化芸術は、人間が人間らしく生きる上で大切なものであり、子どもの成長や未来にとって、とても重要です。

しょうがい こ しょうがい こ こうりゅう たが そんなあ たいせつ まな きょうせいしゃかい じつげん
また、障害のある子どもと障害のない子どもとの交流は、お互いを尊重し合う大切さを学ぶことができ、共生社会の実現

につながります。そのため、障害のあるなしにかかわらず、子どもたちが文化芸術を通じたつながりを持ち、豊かな心を

はぐく とりくみ つづ
育めるよう取組を続けていきます。

1 した いんくるーし ぶ ぶんかげいじゆつ すいしん
親しむ (インクルーシブな文化芸術の推進)

もくひょうち
目標値

こうもく 項目	さくていじ 策定時	もくひょうち れいわ ねんど 目標値 (令和10年度)
しょうがいしゃあーとこうぼてん と あーとてん おうぼ にんずう 障害者アート公募展 (ぴかつtoアート展) に応募した人数	にん 291人 れいわ ねんどじっせき (令和4年度実績)	にん 300人
ぶんかげいじゆつかつどう かんきょう ととの おも しょうがい ひと わりあい 文化芸術活動ができる環境が整っていると思う障害のある人の割合	—	ばーせんと 50%
しがけん いっしょ かんしょうさぽーと おこな しょうがい ひと ひと たの 滋賀県と一緒に、鑑賞サポートを行うなど障害のある人もない人も楽しめる ぶんかげいじゆつぶろぐらむ と く しまちすう 文化芸術プログラムに取り組んだことがある市町数	し 5市 (令和5年度実績)	しまち 10市町

おも とりくみ
主な取組

- (1) かんしょう きかい じゅうじつ
鑑賞の機会の充実にむけて
 - しょうがい ひと かんらんりょう むりょう
・ 障害のある人の観覧料を無料にします。
- (2) そうぞう きかい かくじゅう
創造の機会の拡充にむけて
 - しがけんりつびじゆつかん がっこう こ あーと たの つた
・ 滋賀県立美術館や学校などで、子どもたちにアートやものづくりの楽しさを伝えます。
- (3) けいぞくてき はっぴょう きかい かくほ
継続的な発表の機会の確保にむけて
 - しょうがい ひと さくひん こうぼてん と あーとてん かいさい
・ 障害のある人の作品の公募展 (ぴかつtoアート展) を開催します。

2 つながる (文化芸術活動を通じた社会参加の促進)

もくひょうち
目標値

こうもく 項目	さくていじ 策定時	もくひょうち れいわ ねんど 目標値 (令和10年度)
しがけんげいじゅつぶんかさい さんかじぎょうふく しょうがい ひと ぶんかげいじゅつ 滋賀県芸術文化祭 (参加事業含む) のうち、障害のある人の文化芸術 かつどう はっぴょう じぎょう み き ひと かず 活動を発表した事業を観に来た人の数	—	10,000人

おも とりくみ
主な取組

しょうがい たい りかい ふか
(1) 障害に対する理解を深めるために

- しょうがい ひと さくひん みりよく つた ほてる りよかん さくひん ふくし しせつ しょうがい
・ 障害のある人の作品の魅力を伝えるため、ホテルや旅館などで、作品と福祉施設の紹介をします。

しょうがいしゃ ぶんかげいじゅつさくひん しゃかいてき けいざいてきかち りかい ふか
(2) 障害者の文化芸術作品の社会的・経済的価値の理解を深めるために

- しょうがい ひと すば さくひん はっしん はんぱいほうほう しら ひつよう とりくみ けんとう
・ 障害のある人がつくる素晴らしい作品の発信や販売方法を調べ、必要な取組を検討します。
- しょうがい ひと しょうがい ひと たの しがけんげいじゅつぶんかさい かいさい
・ 障害のある人も障害のない人も楽しめる滋賀県芸術文化祭を開催します。

しがけんげいじゅつぶんかさい しょうがい ひと ひと ぶんかげいじゅつさくひん はっぴょう かんしょう いべんと
※滋賀県芸術文化祭とは、障害のある人もない人も、みなさんがつくった文化芸術作品を発表したり、鑑賞したりできるイベントのこと。

しがけんしゃしんてんらんかい しがけんぶんがくさい しがけんびじゅつてんらんかい ぶたいげいじゅつ かんしょう おーびにんぐいべんと
「滋賀県写真展覧会」「滋賀県文学祭」「滋賀県美術展覧会」や舞台芸術を鑑賞できるオープニングイベントがあります。

しがけんげいじゅつぶんかさいさんかじぎょう しがけん かん じっし ぶんかげいじゅつイベント
※滋賀県芸術文化祭参加事業とは、滋賀県のみなさんが考えて、実施する文化芸術イベントのこと。

しがけんげいじゅつぶんかさい いっしょ の ばんふれっと つく しがけんぜんたい ぶんかげいじゅつ イベント も あ
滋賀県芸術文化祭と一緒に載った、パンフレットを作って、滋賀県全体で、文化芸術のイベントを盛り上げています。

ささ ちいき しょうがいしゃぶんかげいじゅつ すいしん
3 支える (地域の障害者文化芸術の推進)

もくひょうち
目標値

こうもく 項目	さくていじ 策定時	もくひょうち れいわ ねんど 目標値 (令和10年度)
しがけんげいじゅつぶんかさいさんかじぎょう しょうがい ひと ぶんかげいじゅつかつどう はっぴょう じぎょう かず 滋賀県芸術文化祭参加事業のうち、障害のある人の文化芸術活動を発表した事業の数	じぎょう 4事業	じぎょう 20事業

おも とりくみ
主な取組

- しょうがいしゃ ぶんかげいじゅつ ささ ひと きょうせいしゃかい じつげん たす ぷろぐらむ おこ
(1) 障害者の文化芸術を支える人づくりや共生社会の実現を助けるプログラムを行うために
- しょうがい ひと あんしん ぶんかげいじゅつかつどう かんきょう
・ 障害のある人が安心して文化芸術活動ができる環境をつくりまします。
- ちいき ぶんかげいじゅつかつどう けいぞくてき とりくみ
(2) 地域における文化芸術活動の継続的な取組にむけて
- しょうがい ひと ぶんかげいじゅつ した しまち しえん れんけい
・ 障害のある人が文化芸術に親しめるよう、市町と支援・連携します。

けいかく と く たいせい
計画に取り組むための体制

しょうがい ひと ぶんかげいじゅつ すいしん しがけん ぶんかしせつ ふくしせつ ちいき れんけい とりくみ おこ
障害のある人の文化芸術を推進するため、滋賀県は、文化施設、福祉施設、地域などと連携して、取組を行います。

た
その他のこと

まいとし けいかく か しら
毎年、この計画に書いてあることがきちんとできているか、できていないことはどんなことかなどを調べて、この
けいかく か ないよう はな あ ひつよう とりくみ おこな
計画に書いてある内容について話し合い、必要な取組を行います。

しょうがい ひと ひと だれ じぶん
障害のある人もない人も、誰もが自分らしく
ぶんかげいじゅつ した ひと ひと し が
文化芸術に親しみ、人と人がつながる滋賀
め ぎ とりくみ すす
を目指して、取組を進めていきます。